



# オール 大島

## 【学校教育目標】

「思いやりと実践力を持つ人間性豊かな  
生徒の育成」[自立貢献]

平戸市立大島中学校  
2023. 7. 5  
第 14号 発行  
文責

校長 小田 教哉

### 長崎っ子の心を見つめる教育週間の取組 (6月26日(月)~30日(金))について

県教委の目的：「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図る」

**26日(月)** 朝、全校生徒に「校長講話」として次のことを話しました。(略します。)

「…私たちはご先祖様から「命のバトン」を受け継いで、今、生きているからこそ、いろいろな事ができます。戦争、紛争、または自ら命を終わらせる等、尊い命を奪うこと、奪われること、自ら終わらせることは絶対にあってはなりません、「命は1つ」しかありませんから…」という内容でしたが、生徒たちの「傾聴」する姿勢がすばらしく、誇らしく感じることができました。(合言葉「命は1つ」をしっかりと胸に刻んでほしいと思います。)

**27日(火)** は、授業参観(道徳科)と学級懇談会が行われました。(下表は授業内容)

1年生 川渕 結子 教諭	2年生 松本 卓 教諭	3年生 細川 遥菜 教諭
教材名『あなたに』	教材名『そこにいるだけでいい』	教材名『優介の決意』
内容：保護者アンケートやメッセージを使い、自分の名前の由来や出産、育児のエピソードについての動画を見て、家族への感謝の気持ちを持ち、命を大切にしようとする気持ちを深める。	内容：自分自身が生まれてくる確率が250兆分の1であり、奇跡的に生まれてきたこと、また、命のバトンを代々受け継がれていることを知り、命を大切にしようとする気持ちを深める。	内容：臓器提供の内容について、自分自身や家族等、様々な立場から命について考える。命はたった1つしかなく大切なものであること、大切にされているものであるという心情を育てる。

大変お忙しい中、保護者の皆様をはじめ、多数の来賓の方々に参観していただき、ありがとうございました。また、来賓の方々には授業参観後に校長室横にある「ふれあい室」において、鴨川教頭先生を中心に「大島の会」(仮称)を開きました。授業の感想や気づき等、われわれ教職員にとって大変ありがたいお話をしていただき、次への学びとなりました。感謝申し上げます。(2学期もどうぞよろしくお願いいたします。)

—裏面に続きます—

**28日(水)**は、総合的な学習の時間で「ふるさと」について学びを深めました。

1年生は、大島村漁業協同組合 組合長 浜辺 晃様、漁協女性加工の皆様、県北水産業普及指導センターのご指導の下、「水産教室」(魚の加工及び調理、試食)を実施しました。

(的山漁民センターにて) 漁協の皆様には、事前準備や細やかなご指導につきまして、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



2年生は、平戸市文化観光商工部 文化交流課の前田秀人様の案内で、的山大島の歴史や文化についてフィールドワーク「歴史探訪」を実施しました。(前田様、2学期もよろしくお願いいたします。)



3年生は、2年生のときに「空き家を活用して大島を活性化させたい」という願いから、空き家をカフェにするという地域振興プランを考えました。そのプランを公民館、まち協、支所、市役所の方々にプレゼンするための情報発信、メニューの考案、内装デザイン等、地域の方々にアドバイスをいただいたり、意見交換したりしながら自分の考えを深めています。

(写真は6月2日(金) 空き家を見に行った時のものです。)



7月の行事予定 (もうすぐ夏休みです。楽しみです…)

- 6日(木) 小中合同平和学習 (被爆体験者講話 (オンライン))
- 20日(木) 第1学期終業式
- 22日(土) ~ 23日(日) 県中総体 (ソフトテニス・陸上)